

# 微酸性電解水3つのキーワード

安全安心

高い除菌力  
不活化力

桁違いに低い  
ランニングコスト

歯科医院で口内のすすぎ水に



病院で噴霧

待合室の感染予防



TV東京で放映されました



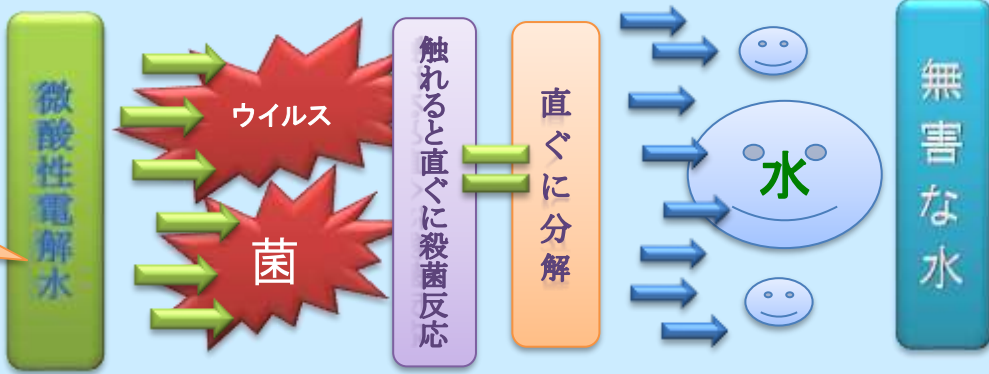
# 安全性



食器や野菜に直接噴霧



2002.6.10  
官報第3378号  
食品添加物

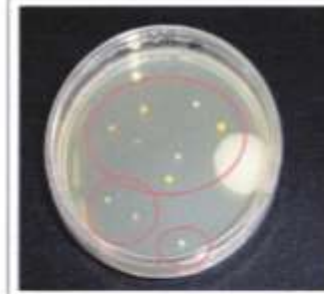


次亜ソールの数十倍の能力

微酸性だから人肌と一緒に  
アルコールに比べ  
手荒れを大幅軽減

菌・ウイルスをはじめ  
多剤耐性菌にも！！

# 安全でありながら 高い除菌・不活化能力



バンタリー側  
[噴霧なし:3階フロア]  
※2階フロアと同じ位置  
日時:2009年2月10日  
入室人数:施設関係者数名  
一般細菌数:約560個/50L  
注)大きい塊を約500個と計算

これが



バンタリー側  
[Apia-mist 連続噴霧中:2階フロア]  
日時:2009年1月26日  
入室人数:施設関係者多数  
一般細菌数:5個(CFU)/50L

激減

※コロニー種類は、黄色:黄色ブドウ球菌群、白色:一般細菌群・大腸菌群と推測されます。

Apia-mist 設置2階フロア空中浮遊菌サンプリング地盤結果写真



教室側  
[噴霧なし:3階フロア]  
※2階フロアと同じ位置  
日時:2009年2月10日  
入室人数:4人  
一般細菌数:約216個/50L  
注)大きい塊を約20個と計算

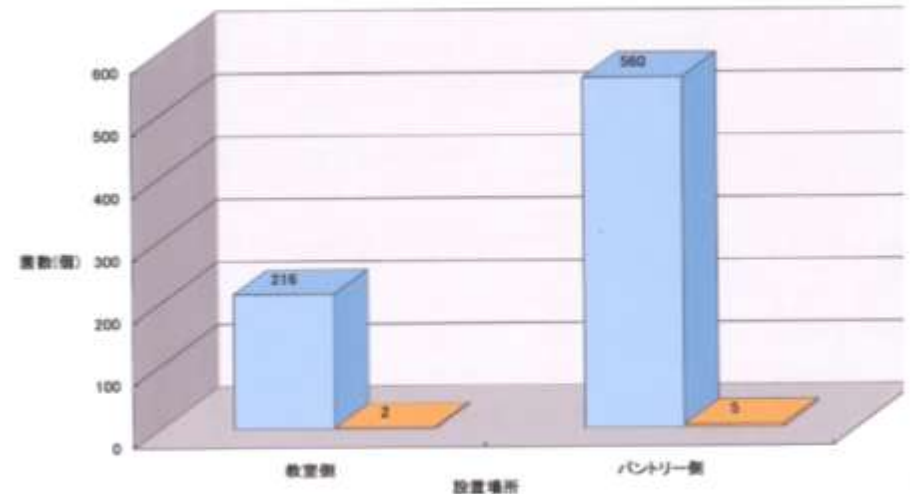
これが



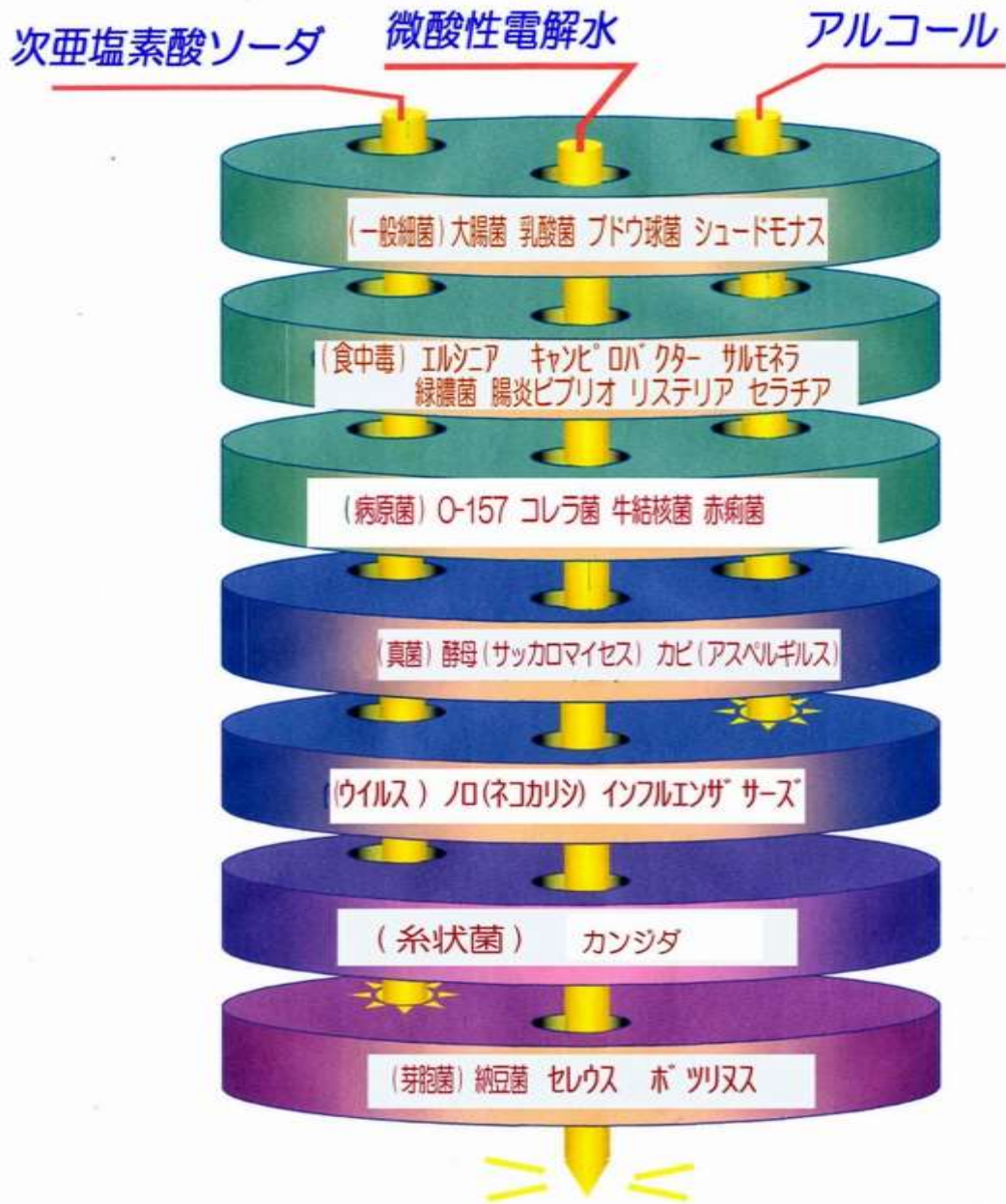
教室側  
[Apia-mist 連続噴霧中:2階フロア]  
日時:2009年1月26日  
入室人数:清掃業者数名  
一般細菌数:2個(CFU)/50L

激減

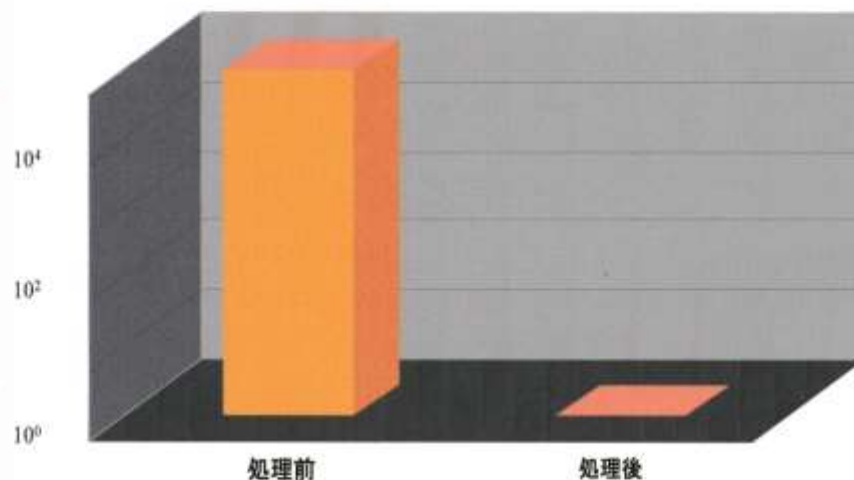
Apia-mist設置フロア空中浮遊菌測定結果



殺菌スペクトル

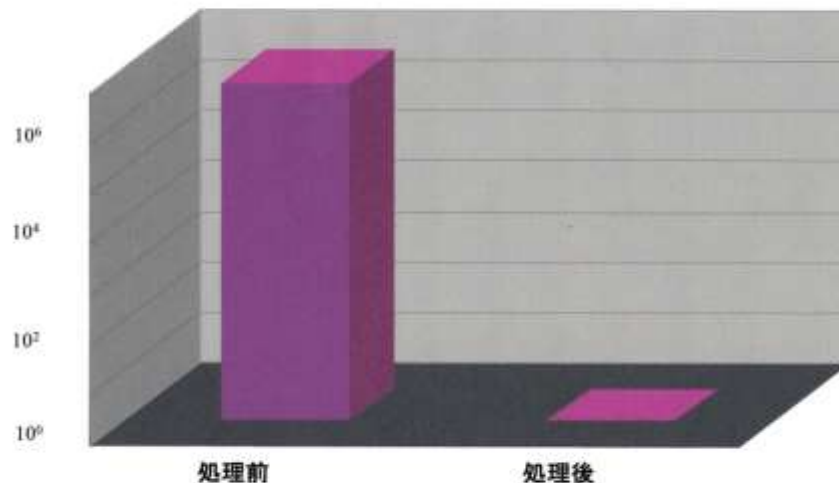


インフルエンザウイルスA型 (H1N1)



(微酸性電解水 有効塩素濃度23~25ppm、pH6.2~6.3)  
両方とも、2007年3月(財)日本食品分析センター大阪支所調べ

ノロウイルス (ネコカリシウイルス)



# 微酸性電解水対応霧化器

なぜ、市販の霧化器ではダメなのか？

1. 加温式の場合 ……微酸性電解水は紫外線と熱に弱いのです

2. 超音波式の場合

超音波振動子の耐久性が違います



超音波振動子の詳細は企業秘密ですが、市販のものでは、通常の水でも、早いものでは三か月で故障してしまうものもありますので、微酸性電解水には耐久性の優れた、専用霧化器をお勧めします。

# 主な Line-up

微酸性電解水生成器  
Apia 60



水道直結 60ℓ/1時間

超音波霧化器  
AG-326



170畳可能

吸い上げ式で長時間連続運転可

超音波霧化器  
UD-200Ⅲ



10畳用

8時間連続運転可（間欠運転可）、壁掛けにも対応

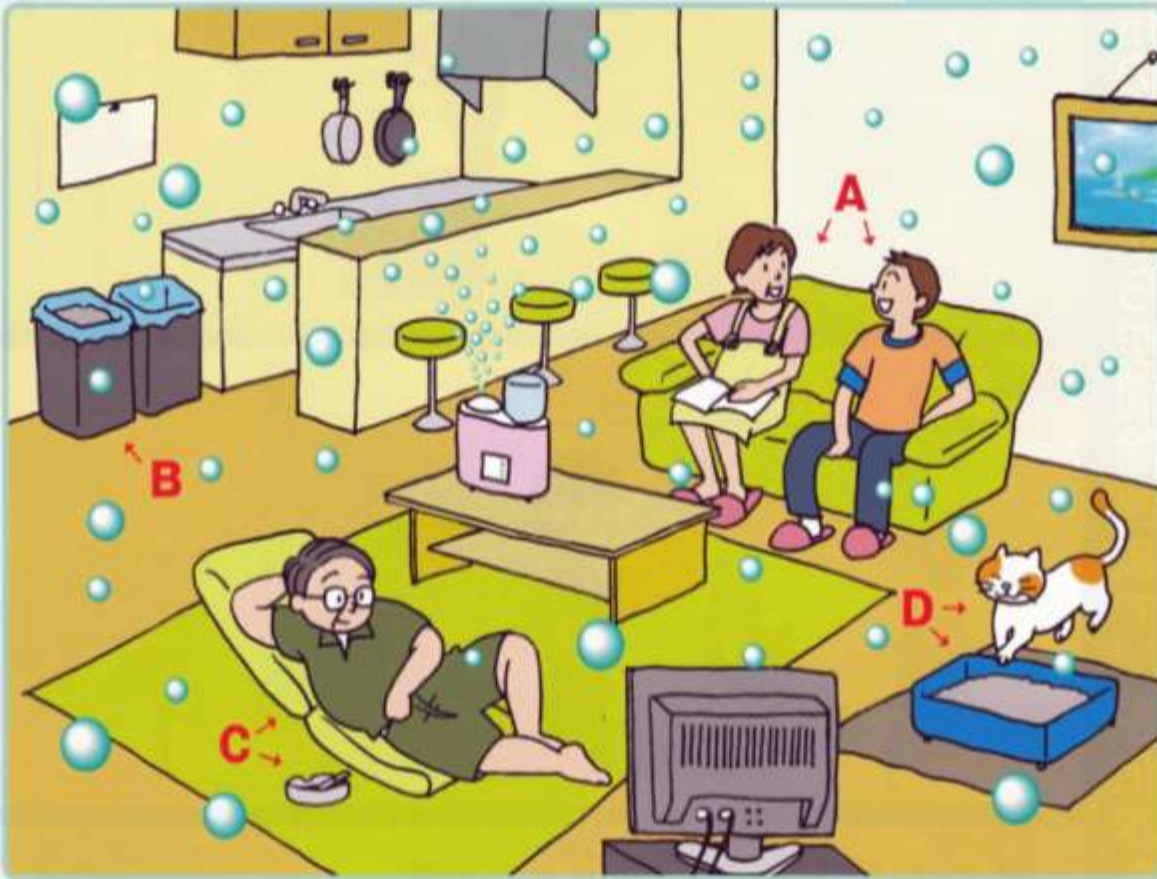
超音波霧化器  
アクアサニ  
ターミスト



20畳用

約30時間連続運転可

## 超音波霧化器を使った微酸性電解水による空間除菌のイメージ



ウイルスは微酸性電解水に触れた瞬間、不活化されますので風邪やインフルエンザの予防に有効。



断続的に噴霧することによって新たに侵入したウイルスや菌などをつぎつぎに退治し、空間をきれいに保ちます。



ウイルスや菌などに瞬間作用し、微酸性電解水自身も無効力化しますので、後に有害物が残留しないの

● 手指の除菌から空間除菌まで。霧化器を使えば除菌力アップ!!

case A

スプレーを使った手指除菌



case B

霧化器を使った手指除菌



case C

霧の量を増やした全身の除菌



case D

感染拡大を防ぐ空間全体の除菌

